

議会だより入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN

No. 183

2017年11月27日



目次

わいわい防火まつりにて

9月議会のあらまし	2 P
前払い式商品券事業に補助(常任委員会レポート)	4 P
議決状況	5 P
決算特別委員会レポート	6 P
町政を問う 一般質問(7議員)	7 P
新しい議会組織決まる	14 P

じゅわ〜と
にゅげん

9月
定例会

議会だよりの表紙写真を募集しています。ぜひご応募ください!

入善小学校の大規模な 改造に向け設計開始！！

9月議会は、5日から21日までの17日間開催され、町長から提案のあった平成29年度補正予算2件、平成28年度決算認定など議案8件、同意案1件、議員提出議案2件について審議しすべて可決した。また、請願1件を審査し継続審査としたほか、13日、14日に一般質問が行われ、7人の議員が質問に立ち論戦が交わされた。

補正予算の概要

一般会計の補正予算は、入善小学校大規模改造事業実施に向けた設計業務にかかる委託料や町道および消雪施設の修繕などにかかる工事請負費の増額である。今回、7392万円を追加し、総額109億6501万7千円とした。

◎主な事業

○農地事務費 2405万円
県単土地改良事業および多面的機能支払交付金(長寿命化分)の追加内示に伴う補助金を増額する。

○学校施設維持管理費 1750万円
入善小学校大規模改造事業実施に向けた設計業務の委託料を計上する。

○道路維持管理費 1000万円
町道および消雪施設の修繕などにかかる工事請負費を増額する。

○地域防犯対策推進費 200万円
LED防犯灯設置補助金を申請件数の増加に伴い増額する。

○クリーン入善推進事業費 100万円
ごみステーション設置補助金を申請件数の増加に伴い増額する。



大規模改修予定の入善小学校

平成28年度決算認定

一般会計については賛成多数で認定、6特別会計は賛成全員で認定された。

一般会計決算に関する討論

反対討論

井田 義孝 議員

平成28年度決算では、介護予防事業や公共交通などで取組みが不十分であり、改善が必要だ。

また、公共施設等整備基金へ新たに5億2千万円を積み立てたが、基金を積み重ねる根拠を町民に示すべきだ。

土木事業など投資的経費と基金積み立てに重きを置くのではなく、子育て環境の整備や介護予防事業などの住民要望の前進に充てるべきだ。

賛成討論

中瀬 淳哉 議員

人口減少・少子高齢化社会の現状を受け、移住・定住施策の積極的な展開など、未来に向け選択される町を目指し予算が執行されている。

また、県内でトップクラスとなる財政の健全化が堅持されているとともに、将来の負担が大きくなるよう、計画的に基金を積み立てていることを大いに評価する。

議員提出議案

道路整備予算の総額確保と道路財特法による補助率の嵩上げ措置の継続に関する意見書

来年度から道路整備への補助率が低減されるが、地方にとつては死活問題である。地方における道路整備の現状とその必要性を十分認識し、安定的な財源措置と嵩上げ措置が継続されるよう意見書を提出する。

賛成全員で可決

北朝鮮のミサイル発射及び核実験に対し

断固たる措置をとることを求める意見書

北朝鮮は9月3日に核実験を行い、ミサイル発射実験を繰り返すなど、国民の不安は増大する一方である。

国民の安全確保のためにも、断固たる厳しい措置をとるなど、早急な解決に向けた措置を講じるよう意見書を提出する。

賛成全員で可決

請願

通学路（吉原―下上野間）が避難でき、緊急車両も通行できるように拡幅・改修を求める請願書

請願者 吉原道路委員会

委員長 三区区長 大野 義尚

ほか2名

継続審査

用地の売却について

平成28年12月議会で議決され取得した工場用地の造成工事が完了したことから、シロウマサイエンス㈱と土地売買契約を締結し用地の売却処分を行う。

◆シロウマサイエンス㈱工場用地

処分用地 青木1511番地1外2筆
面積 8448㎡



売却される工場用地

教育委員会委員の同意

平成29年9月30日で任期満了となる島加代子氏の後任として、加藤裕子氏の任命に同意した。
（任期は4年）



加藤 裕子氏

（上原）

臨時会 8月2日

8月臨時議会は、平成29年度一般会計補正予算1件を審議し可決した。また、平成28年度入善町一般会計および特別会計の歳入歳出決算の審査について、次期9月定例会まで決算特別委員会を設置し、審査することとした。

委員は次のとおり

委員長	谷口 一 男
副委員長	松澤 孝 浩
委員	五十里 国 明
”	中瀬 淳 哉
”	本 田 均
”	井 田 義 孝

補正予算

◎主な事業

○飯野コミュニティ防災センター等敷地の取得について

以下の敷地買取りのために、公有財産購入費を計上する。

飯野消防屯所分	122万円
飯野小学校敷地分	423万円
飯野コミュニティ	

防災センター駐車場敷地分	1524万円
--------------	--------

常任委員会レポート

総務 常任委員会

ゴミステーション
新設の申請件数増
加に対応

Q 衛生費においてク
リーン入善推進事
業費として100万円
を計上しているが、そ
の具体的な内容は、

A ゴミステーション
新設に対し
ての補助金であ
る。

今後見込まれ
る新設の5基分
を想定して追加
補正した。ゴミ
ステーションに
ついては、今年
度8基分に対し
て交付済みであ
る。



ゴミステーションの更新に補助

さらに今現在
4基分の申請を
受け付けており、
当初予算をす

にオーバーしている。
補助額については、
1基の上限が15万円
で補助率は2分の1
である。

Q 新設とは新しく収
集する場所が17カ
所増えたと考えて良
いのか。

A 設置済みも含めて
17基のうち新しい
収集場所は1カ所
だけである。他は
全て既存施設の更
新である。

町内のLED化率
は32%

Q 地域防犯対策推
進費のLED化設置
事業補助金として2
0万円を増額補正
しているが、LED化
されている防犯灯の
割合はどれくらい
か。

A 町内には約3千
基の防犯灯があり、
LED化率は平成28
年度末で32%
である。

当初予算で125
件を見込んでいた
が、現在211件
の申請を受け
けるなど、申込み
件数の増加により
200万円の補正
とした。

Q LED化を前提と
して交換している
のか。

A LED化を前提。
球が切れたタイ
ミングで更新し
ている。

産業教育 常任委員会

町商工会の前払い
商品券事業に補助

Q 商工会商品券発
行事業に対して、補
助金250万円が計
上されているが内
容は、

A 町商工会が平成
30年度から取組む
前払い商品券事業
の初期費用に対し
、2分の1を補助
する。

町限定で使える
商品券で地域内
での消費拡大を
目的としている。

Q 登録店舗数と
発行枚数は、

A 商工会に登録
している300店
舗を見込んでい
る。

千円の商品券を
8万枚用意する
予定だ。有効期
間は5年間。

商工会やJA
みな穂、コスモ
21で販売する。

入善小学校大規模
改造の基本設計と
第1期実施設計に
着手

Q 入善小学校の大
規模改造に対する
設計業務委託料
1750万円が計上
されているが、何
年計画で、総事業
費はどれくらい
かと考えている
のか。

A 入善小学校は
平成元年に建設
され、老朽化し
ているところ
もあり、改修が
必要だ。

3カ年程度で
計画していきたい。
また総事業費に
ついては、10億
円前後になる
のではないかと
推測している。

3カ年程度で
計画していきたい。
また総事業費に
ついては、10億
円前後になる
のではないかと
推測している。



老朽化し改修が必要な入善小学校

Q なぜこのタイミ
ングなのか。補正
計上する理由は、

A 国の補正予算の
条件として、設計
が終わっている
ことが前提だ。

そのため、今回
倒壊して基本設計
と1期目の実施
設計を計上した。
基本設計が
終われば概要
が出るので、
出来次第説明
したい。

8月臨時会の議決状況

議案番号		氏名												
		井田 義孝	本田 均	中瀬 淳哉	田中 伸一	五十里 忠茂	五十里 国明	野島 浩	佐藤 一仁	中瀬 範幸	松澤 孝浩	松田 俊弘	山下 勇	谷口 一男
議案第38号	平成29年度入善町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

9月議会の議決状況

議案番号		氏名												
		井田 義孝	本田 均	中瀬 淳哉	田中 伸一	五十里 忠茂	五十里 国明	野島 浩	佐藤 一仁	中瀬 範幸	松澤 孝浩	松田 俊弘	山下 勇	谷口 一男
議案第39号	平成28年度入善町一般会計歳入歳出決算認定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第40号	平成28年度入善町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	平成28年度入善町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	平成28年度入善町育英奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	平成28年度入善町下水道特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	平成28年度入善町農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	平成28年度入善町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	企業立地用地の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	平成29年度入善町一般会計補正予算(第3号)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第48号	平成29年度入善町育英奨学資金特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	通学路(吉原一下上野間)が避難でき、緊急車両も通行できるように拡幅・改修を求める請願書	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	○	△	△
同意案第20号	入善町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第5号	道路整備予算の総額確保と道路財特法による補助率の嵩上げ措置の継続に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第6号	北朝鮮のミサイル発射及び核実験に対し断固たる措置をとることを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成、△：継続審査、×：反対

平成28年度決算を認定

決算特別委員会レポート

審査の経過

8月2日から、平成28年度の一般会計および特別会計の審査を行った。

会計管理者をはじめ、担当課長の出席のもと、決算資料に基づき説明を受け、質疑を行うなど6回にわたり委員会を開催し、慎重に審査を行った。

8月18日には舟見山自然公園線をはじめ、園家山親水公園、高瀬湧水の庭、下野公園など6カ所について現地を視察した。

その後、8月23日に総括質疑、討論、採決を行い、決算特別委員会の審査を終了した。

付託案件は全て認定

一般会計の決算認定については賛成多数、国民健康保険や下水道などの特別会計6議案については、賛成全員で認定すべきと決した。

主な審査意見

「ストップ人口減少」 明るい兆しも

結婚・子育て、移住・定住促進施策など「ストップ人口減少」に向けた各事業が本格的にスタートした。

その結果、人口の社会減の幅が縮小するなど、一定の効果が現れたことは評価する。

今後、事業の検証、改善を行いながら、積極的に取組んでほしい。

保育士や介護人材の 確保に一層の努力を

入所児童の低年齢化、ニーズの多様化などで保育士や学童保育指導員の不足が懸念される。引き続き、待遇改善と人員確保に努力を求めたい。

介護・医療など福祉分野の人材不足が続いている。

養成学校の設置や職員の処遇改善などについて、国や県に強く働きかけるよう望む。

火災件数が増加 啓発に力を

ここ数年、火災の発生件数が増加している。火災予防には、啓発活動が重要だ。地域や企業への協力依頼など、団員確保の取組み強化を望む。

また、住宅用火災警報器の更新時期を迎えていることから、機器の更新、点検についても周知すべきだ。

公共施設の適正な維持 管理と計画的な改修を

役場庁舎をはじめ公共施設が老朽化している。管理計画に基づく適正な維持管理で施設の長寿命化に努めてほしい。

また、改修や建て替えには多くの経費がかかる。将来負担が大きくなるように、計画的な改修や基金の積み立てなど住民への丁寧な説明を望む。

公共交通のさらなる 利便性の向上を

高齢化社会を迎えた

今、公共交通の役割がますます重要になっていく。

住民要望に応えられるよう、実情に合わせた柔軟な対応で、より一層の利便性の向上に努力を望む。

こんな意見も

・小規模事業者経営改善資金融資の利子補助の期間をもっと延ばせないか。

・介護職員の研修費支援や研修期間中の人件費補助などを行ってはどうか。

・今年の夏は、学童保育で高校生の協力を得られたが、今後も継続を望む。

・労働力不足が懸念される中、人材マッチングフェアは有効な手段であり、もっとPRを。



乗合いタクシー「ウチマエくん」

「富富富」の栽培普及の問題をどう捉えるか
町長 一定の栽培基準を設けることが必要だ



建設中の統合保育所

問 「富富富」の栽培普及の問題が多く考えられるが、当局はどのように捉え対応するのか。
笹島町長 県では新しい

富山米「富富富」の平成30年産からの本格デビューに向け「新品種戦略推進会議」を中心として、栽培技術の確立や、販売、PRの具体的検討を行っている。

生産者登録要件として、一定の栽培基準を守ることが義務付けられている。

主な基準は「一発肥料を使わない施肥体系とする」ことなどである。

大規模な担い手農家は作業の増加やコシヒカリとの区分管理などで、手間隙がかかり取組みづらいたの話も出ている。

全国的には、厳しい栽培基準を設け差別化を図ることが当たり前になっ

ていることも事実だ。

他県の新品種に負けない高い評価を得ていくために、一定の栽培基準を設けることが必要と考える。

一発肥料を使わない理由は、きめ細かい肥料管理をすることで気候や土質、良食味の確保、向上を図るためである。

農薬を減らすことは安全、安心を消費者にアピールし、購買意欲や高い評価の獲得につながるものである。

栽培基準を設ける最大の理由は、全国の競争に負けない高い品質、食味を目指し「富富富」の持つ品種特性をしつかりと

確保できる生産体制を構築するためである。

低入札が業者の淘汰につながるのかわ

民間受注もあり淘汰につながると思わない

問 平成28年4月1日以後、Aランク業者の発注件数14物件の平均落札率は73・5%だ。これが予定価格の公表を事後にしたことに関係があると思

うか。また、この受注状態が業者の淘汰につながるのではないか。

竹島企画財政課長 平成13年9月から予定価格は事前公表としてきた。

政府は、業者の積算能力の低下や競争性が制限されるなどの理由から、平成23年8月の閣議で

「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」を決定した。それにより、地方公共団体にも事後公表へ見直すよう、要請があった。

町では、入札制度改善検討委員会などで検討した結果、平成28年4月より事後公表とした。

落札率と予定価格事後公表と関係があるとは考えていない。

町は適正な予定価格を設定し発注している。低入札を誘導しているということはない。

建設業界では、公共工事だけでなく、民間からの受注もある。すぐに業者の淘汰につながるとは考えていない。



五十里 国明 議員



介護現場で働く職員のみなさん

介護職員の処遇改善のための研修に支援を
健康福祉課長 他業種との兼ね合いから困難



松田 俊弘 議員

問 町内の介護施設では、職員不足により約50人分の受け入れが制限されている。介護職員の確保・定着

は喫緊の課題だ。町内の実態はどうか。

小堀健康福祉課長 町内の入所サービス系事業所の情報では、ほとんどで人材確保や定着に苦慮している。

問 政府が定めた介護職員の処遇改善には研修が必要だが、職員と事業所の負担になっている。研修の際の費用や人件費に支援してはどうか。

国に処遇改善を求めていくと同時に、行政が事業者の悩みを把握し、一体となって問題の解決に努めるべきだ。

健康福祉課長 支援は他業種との兼ね合いから困難。町内に移住し介護職

に就いた人に、町は10万円の支援をしているが、実績は一人だ。有効な支援を研究する。

引き続き、処遇改善を国に強く働きかけることや、県東部の高校へ福祉学科を要望していく。

180万㎡の土砂を
一気に排砂するのか
土砂管理協議会で議論
したい

問 関西電力株のドラム缶や資機材の流出で、今年には排砂できなかった。その結果、出し平ダムには新たに141万㎡の土砂が溜まったとのことだ。以前にも関電の流出卜

ラブルがあった。関電の危機管理に問題があるのではないか。

窪野建設課長 猫又での護岸損壊が原因。関電は山側に移すとのこと。

問 出し平ダムには年平均30万㎡の土砂が溜まる。来年には、昨年の排砂以降で180万㎡に達することもあり得る。

これを一気に流せば、環境への大きな影響は避けられず、溜めればヘドロ化する。より自然に近い排砂にするよう、6、8月に期間を限定せず、年間を通して一定の出水時に行うべきではないか。

また、これまでのように、個々に農業や漁業関係者に意見を聞いていては選択肢が狭くなる。国交省と関電、関係団体が一堂に集まり協議する場

を設けるべきだ。
町長 土砂排出をすべて来年に持ち越すのかや、協議のあり方についても、土砂管理協議会で議論していきたい。

入川の法面に計画的に張りブロックの設置を
藤原、春日地区内での設置を働きかけていく

問 今年7月の大雨で、入川の張りブロック未設置の法面が、2カ所で削られた。近年こうしたことが続いている。

削られてからブロックを設置するのではなく、計画的に整備するよう県に求めるべきだ。

建設課長 県は、入川の荒又地区に設置する計画を進めている。藤原、春日地区内での設置も働きかけていく。

職業体験のインターンシップ事業を

町の事業として行っていくべきだ

県と連携を図り

キラキラ 商工観光課長 支援策を研究していきたい

問 県がスタートさせたインターンシップ事業に連動し、来年度以降は町の事業として全町的に行っていくべきだ。

梅沢キラキラ商工観光課長 平成27年度に町商工会が実施した「事業承継に関するアンケート」に、中心市街地の150の小規模事業所から回答があった。

とが浮き彫りとなった。県は、商店街での職業体験を行うインターンシップ事業「商店街プロフェッショナル体験モデル事業」を今年度から新たに始めた。

町の中心商店街



その結果、事業承継の今後の予定について「まだ決めていない」が45.3%で、「廃業を検討している」が27.3%であった。さらにこの「廃業を検討している」と回答した中でも、46.3%が「適当な後継者が見つからない」と答えている。

商店街での開業や事業承継の促進を目的とするものだ。今年度は、県と町商工会が協力し、中心商店街にある銭湯、文具店、居酒屋の3店舗での実施が計画されている。

問 介護施設において、職員研修の専門員の雇い入れに対して補助をしてはどうか。

健康福祉課長 介護職場において、定年後にこれまでの経験豊富なキャリアを生かされるよう引き続き、就労してもらう事業所もある。

介護職員研修の専門員雇い入れに補助を有効かどうか調査していく

後調査していきたい。一方、町では在宅介護の支援として、家族介護ワーカー講習会や公開講座、さらには、生活介護支援サポーター養成講座を実施している。

また、今年度から高齢者の介護予防・生活支援サービスの充実を図り、地域における助け合い、支え合いの体制づくりを推進する協議体の立ち上げを予定している。

今後もそれぞれが役割を持ち、地域で支え合っていく地域包括ケアを進め、誰もが健康で幸せに生涯暮らせるまちづくりを目指していきたい。

- ◎その他の質問
- ・職員研修について
- ・イクボス宣言について



中瀬 淳哉 議員



入善地区のまちづくり懇談会

町民参加のまちづくり懇談会を

今後どのように行っていくのか

町長 区長連絡協議会とともに考えていく



五十里 忠茂 議員

問 将来にわたって町を
発展させていく点からも、
もう一度、原点に立ち返
り町民参加のまちづくり
懇談会を、今後どのよう

に行っていくのか。

町長 まちづくり懇談会
は、町の現状や施策の説
明を行うとともに、町づ
くりや地域づくりの課題
などの解決に向け、直接
町民と意見を交換する場
である。

情報を共有し、相互理
解のもとに支え合いによ
るまちづくりを推進する
ことを目的としている。

毎年各地区区長会と
もに開催している。各地
区との議論を通して、課
題などを把握し、町政に
反映させるため、このよ
うな懇談会は大変重要で
あると考えている。

開催にあたっては、形
式的なものに陥ることが

なく、女性や若者が進
んで参加できるまちづく
り懇談会となるよう、柔軟
に開催することについて、
区長連絡協議会とともに
考えていく。

**選挙の投票率向上に向
けた手立ては
政治への参加意識の高
揚が重要**

問 国政や自治体選挙に
おいて、投票率の低下が
懸念されるが、当町にお
ける投票率の状況はいか
か。

神子沢総務課長 町長・
議会議員選挙において、
投票率は低下傾向にある。
問 選挙権年齢の引き下

げで、若者の意識高揚を
どのように図っていくの
か。

また、全体的な投票率
を高める手立ては。

総務課長 選挙権年齢の
引き下げは、近年の選挙
制度改革の中でも非常に
大きな改正であると認識
している。

新たに投票権を得る若
者の「政治参加意識の高
揚」への取組みは、非常
に重要であると考えてい
る。

町では、県選挙管理委
員会や富山県明るい選挙
推進協議会と連携し、県
立高校などにおける出前
講座を開催するなど、若
者への選挙啓発を行う。

一方、全体的な投票率
を高める対策については、
期日前投票制度の周知・

啓発に取り組んでいく。

**役場庁舎前のモニュメ
ントをどうするのか**

調査・検証を重ねる

問 国道8号の拡幅事業
において、前田常作氏作
の庁舎前のモニュメント
をどうするのか。

モニュメントを中心と
して、いこいの広場を設
けてはどうか。

建設課長 老朽化が進ん
でいることから、撤去す
るなど様々な案が考えら
れる。

町民が気軽に芸術に触
れることができるよう、
いこいの場となる場所に
設置するといったことも、
今後検討する上で参考と
していく。

海上風力発電の現状は

町長

ボーリングなどにより 海域の諸条件を調査中



横山沖でボーリング調査

問 議会への報告や一部報道にあった海上風力発電の現状はどうか。
町長 三井造船株式会社が入善沖合での風力発

電を計画している。

具体的内容としては、横山地区の約600から800メートル沖合で、水深10から13メートルの海域に計画されている。

また、風車の高さは海面から120メートルで、ブレード部分の直径は約86メートルである。

発電能力2メガワット級の風車4基を、着床式により設置するものだ。

完成時は、一般家庭4千世帯余りの電気を賄うことができるほか、年間1万2500トンの二酸化炭素排出量の削減につながる」と試算されている。

現在は、入善漁業協同組合の同意や、県の許可

を得た上で、事業者が音波による深浅測量やボーリングによる、海底の地質調査など、海域の諸条件の調査が行われている。

今後は、入善町の海岸線の新たな観光資源としても、大きなインパクトがあり、観光面でも波及効果が見込まれる。

入善沖での洋上風力発電事業が実現することに、大いに期待をしている。

**全国学力・学習状況調査の公表は
今後も調査の公表は控える**

問 学力調査の公表は現在も考えていないのか。

池原教育長 調査の目的に従い、県総合教育センターの学力向上チームの分析を参考に町でも独自の分析を行い、児童生徒の学習習慣や、授業の改善に活用をしている。

地域住民と学力調査の結果を情報共有すればとの指摘があるが、子どもたちを「地域で育てる」ということに関しては、必ずしも学力調査結果の情報共有する必要はないと考えている。

今後も、本調査の目的に照らし、公表は控えさせていたたく。

**宅地、住宅関連の補助制度の見直しは
目的と効果を引き続き検証していきたい**

問 宅地購入補助や近居住宅支援を見直す考えは。

米田住まい・まちづくり課長 これらの補助制度については、社会情勢の変化や、町民ニーズなどを踏まえ、適宜、適正に行っていく必要がある。

「宅地開発事業補助金」や、「安心定住促進事業補助金」についても、その目的と効果について引き続き検証していきたい。



本田 均 議員



前田常作先生の展覧会



佐藤 一仁 議員

公共交通の最適化と将来像は

キラキラ 商工観光課長

来年3月に最終報告をまとめる

問 今年度予算に、公共交通運行最適化検討業務が含まれている。業務内容と進捗状況、および将来像はあるか。

キラキラ商工観光課長

町では、公共交通の利便性向上を図るため、利用実態や人口動態、サービスレベルや運行経費などの最適化策の調査を行っている。

7月から乗降者数の分析、9月から事業者や利用者へのヒアリング、10月～11月にかけては、交通、福祉、商工団体などで構成する運行最適化会議を複数回開催する。具体化方針や実行スケジュールを検証して、来年3月に最終報告をまとめ、将来像を示せればと考える。

問 東京大学開発のコンビニクルシステムの実証

実験としてはどうか。

キラキラ商工観光課長

現行のウチマエくんの利用者の意見はおおむね好評だが、予約が不便などの意見もある。

岐阜県養老町でコンビニクルシステムの視察を行った。利用の30分前の予約が可能で、運行時間も正確だ。現在の不満点の改善につながる可能性もあるが、現行の運行スタイルや、町の地理的要因から課題が多い。当日予約の実現や運行時間など、利便性の拡大には何らかのシステム導入は不可欠だ。

問 新幹線ライナーを1

時間前までの予約制にしてはどうか。

キラキラ商工観光課長

町のライナーの1日あたりの利用人数は、朝日町や魚津市より多い。しかし、1便あたりでは少なく、効率性では予約制が上回る。

空き家解体の実績は

補助金創設から10件

問 町内の空き家の実態と町の制度を利用している処理件数は何件か。

住まい・まちづくり課長

空き家実態調査の結果、町内全域で空き家681件、空き地349件がある。危険度の高いランク4が32件、ランク3が131件ある。平成25年度に創設された、老朽危険家屋解体補

助金を利用しての解体は、今年8月までの4年間で合計10件だ。今後もランク4の所有者にこの制度を周知し、解体を働きかける。

前田常作記念館の建設を考へては

財源、維持管理費を考へると現状では困難だ

問 今年で前田常作氏の没後10年にあたる。氏は名誉町民で武蔵野美術大学学長を務められた。その偉業を讃えるために記念館の建設を考へては。

町長 旧柵山村出身で、「マンダラの前田」として世界に名を馳せられたことは町民承知の通りである。

記念館となると、財源や維持管理費、運営費などを考へると、現状では困難だ。

町の財政を住民要望優先に切り替えよ

町長

住民生活の充実に 施策を展開している

問 町は前年度、2億円の予定だった公共施設等整備基金に5億2千万円積み立てた。

公共施設の維持補修に

今後5年間でどれだけかかるのか。

町長 小学校や運動公園、役場や下水道など40年間で562億円かかる。今後5年間では50億円必要だ。

問 町の借金は134億円になるうとしている。

さらに借金を増やしてまで大型事業に取組むのか。
町長 国が交付税で措置してくれる有利な借金だ。町の借金は、将来世代に負担を求める意味もある。

問 借金も基金も大型事業のためだけに思える。

一方で防犯灯など住民要望には予算がないと言
う。67億円ある基金を活用し、財政を住民要望優



楽しい小学校生活を



井田 義孝 議員

先に切り替えるべきだ。
町長 住民生活の充実のため施策を行っている。

**就学援助の入学準備金を入学前に支給せよ
先進事例を学び研究したい**

問 7月に支給されている就学援助の入学準備金を、入学前に前倒し支給すべきではないか。

板倉教育委員会事務局長
先進事例を学び、条件を研究したい。

問 学童保育は夏休みなどの早朝保育が求められており、町の責任で指導員を確保すべきだ。

清田結婚・子育て応援課長

学童保育の指導員確保は町の責任だ。

**町の防火水槽整備計画はどうなっているのか
いつどこに、という計画はない**

問 町の防火水槽整備計画と充足率はどうなっているのか。

小路消防署長 地区の要望に合わせ、毎年1基を準市街地や密集地に整備している。
充足率は14・8%だ。

問 いつどこに整備する計画か。

消防署長 大きく設定した危険区域に3く5基を設置したいが『いつまでにどこに』という計画はない。

問 計画的整備のために町が土地を購入すべきだ。

梅津副町長 地権者の理解を得るのが難しく、地域の理解が大前提だ。

**マツクイ被害木の伐採を5月後に持ち越すな
4月に伐採するよう準備する**

問 園家山などでマツクイムシ被害木の伐採が進んでいるが、予算が足りず、伐採が来年に持ち越される恐れがある。

5月以降に持ち越せば羽化したカミキリムシによって新たな被害が広がる。

来年度予算で、ただちに4月から伐採できるようにすべきではないか。
建設課長 来年度は4月からすぐ伐採するよう準備していく。

臨時議会
10月30日

新しい 議会組織決まる



就任のごあいさつ

議長

佐藤 一仁

副議長

野島 浩

このたび、議員各位のご推挙を賜り、議長に就任させていただきました。身に余る名誉と感謝申しあげるとともに、その重責に大きな緊張を感じているところです。

浅学非才ではありますが、皆様方のご指導、ご鞭撻を賜り、誠心誠意、職務に励んでまいる所存です。

活力ある未来の町づくりをめざして、議員全員がより一層の研鑽を積んで、町政の課題に取り組まなければならないと思っています。

少子・高齢化、人口減少、農業・漁業問題や高齢者福祉、子どもたちの教育の問題、さらには安全・安心な環境づくりなど、入善町の重要課題の解決に向けて、当局や町民の皆様とともに努力してまいります。

このたびの組織議会におきまして、議員各位のご推挙により副議長の要職に就くことになりました。

身に余る光栄であり、その重責に身の引き締まる思いであります。

もとより、浅学非才の身ではありますが、議長を補佐し町当局と議論を重ね、活力ある地域づくりに全力であたる覚悟です。

今、町を取り巻く状況は、少子・高齢化、人口減少の進展による地域活力の低下、コミュニティーの衰退など課題が山積しております。

議会改革を進めながらもこれらの諸課題に対して議会本来の役割を十分に認識し、町政の発展に努力してまいります。

今後とも、よろしくお願いたします。

新たな組織構成 (平成29年10月30日より)

議長 佐藤 一仁
副議長 野島 浩

☆総務常任委員会

委員長 中瀬 淳哉
副委員長 鍵田 昭
委員 松澤 孝浩
" 佐藤 一仁
" 五十里忠茂
" 井田 義孝
" 鍋嶋慎一郎

☆議会運営委員会

委員長 松澤 孝浩
副委員長 野島 浩
委員 元島 正隆
" 松田 俊弘
" 田中 伸一
" 中瀬 淳哉

☆議会改革特別委員会

委員長 元島 正隆
副委員長 野島 浩
委員 全議員

☆産業教育常任委員会

委員長 田中 伸一
副委員長 池原 純一
委員 元島 正隆
" 松田 俊弘
" 野島 浩
" 五十里国明
" 本田 均

☆議会広報編集 特別委員会

委員長 野島 浩
副委員長 中瀬 淳哉
委員 松田 俊弘
" 五十里国明
" 田中 伸一
" 鍋嶋慎一郎

☆環境・下水道対策 特別委員会

委員長 中瀬 淳哉
副委員長 鍋嶋慎一郎
委員 元島 正隆
" 松田 俊弘
" 佐藤 一仁
" 野島 浩
" 五十里国明

☆交通網対策 特別委員会

委員長 本田 均
副委員長 井田 義孝
委員 松澤 孝浩
" 五十里忠茂
" 田中 伸一
" 池原 純一
" 鍵田 昭

☆監査委員

委員 元島 正隆

☆新川広域圏事務 組合議会

議員 佐藤 一仁
" 元島 正隆
" 松澤 孝浩

☆新川地域介護保険・ ケーブルテレビ事業 組合議会

議員 佐藤 一仁
" 野島 浩
" 井田 義孝

☆新川地域消防 組合議会

議員 佐藤 一仁
" 野島 浩
" 田中 伸一

☆後期高齢者医療 広域連合議会

議員 五十里忠茂

10月臨時会の議決状況

議案番号		氏名												
		鍋嶋慎一郎	鍵田 昭	池原 純一	井田 義孝	本田 均	中瀬 淳哉	田中 伸一	五十里忠茂	五十里国明	野島 浩	松澤 孝浩	松田 俊弘	元島 正隆
同意案号 第21号	入善町監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第4号	専決処分第7号 平成29年度入善町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

新議員の紹介

〔議席順〕〔敬称略〕

氏名、年齢(10月30日現在)
党派新旧別、当選回数、職業、
住所の順



井田 義孝 48
共 現 ②
無職、芦崎



池原 純一 62
無 新 ①
農業、栲山



鍵田 昭 62
無 新 ①
会社員、東狐



鍋嶋 慎一郎 42
無 新 ①
会社員、栲山



五十里 国明 73
無 現 ②
農業、東五十里



五十里 忠茂 69
無 現 ②
無職、東五十里



田中 伸一 63
自 現 ②
農業、田中



中瀬 淳哉 39
自 現 ②
会社員、入膳



本田 均 59
無 現 ②
自営業、入膳



元島 正隆 64
無 元 ⑥
農業、上野



松田 俊弘 61
共 現 ⑥
無職、春日



松澤 孝浩 55
無 現 ⑥
電気工事業、青木



佐藤 一仁 62
自 現 ④
無職、横山



野島 浩 62
無 現 ③
会社役員、舟見

編集の窓

黒部川扇状地の収穫もほぼ終了し、秋も深まる中、週末ごとに台風の上陸が相次ぎました。

なかでも、超大型の台風21号は本町の観光資源である杉沢の沢スギや、負釣山への林道など数カ所に甚大な被害をもたらしました。早期の復旧を望むものがあります。

さて、このたびの町議会議員選挙の結果、新人を含む14名が当選し、新たに議会広報編集委員6名が選任されました。

町民の皆様にも親しまれる紙面づくりに取組んでいきたいと、決意を新たにしています。

議会広報編集特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 議長 | 佐藤 一仁 |
| 委員長 | 野島 浩 |
| 副委員長 | 中瀬 淳哉 |
| 委員 | 松田 俊弘 |
| ” | 五十里 国明 |
| ” | 田中 伸一 |
| ” | 鍋嶋 慎一郎 |